

山口県介護支援

専門員協会だより



平成23年度
第1号
広報事業部

会長挨拶(日本協会の動向について)

山口県介護支援専門員協会 会長

大久保 千絵

六月二十五日、東京で日本介護支援専門員協会の社員総会が開催されました。山口県からは、五月に実施された選挙により承認していただいた三名の代議員が出席いたしました。

現在、日本協会は三月に発生した東日本大震災の復興支援に尽力しています。

長いスパンでの会員支援を継続していくけるよう、被災された方への減免等体制を整えているところです。協会としての復興支援は、介護支援専門員同士の助け合い、支えあいが基盤になります。災害時の時こそ、お互いの助け合い精神が必要であり、絆が大切な力になります。国協会では協会に所属しておられる方しか把握する事が出来ません。所属しておられない仲間の手を差し伸べたくても、現状が把握できない現実があります。介護

支援専門員として、協会員としての結束力がより強固なものになり、少しでも多くの仲間に手を差し伸べることが出来るように協会の組織力を高めて行きたいと国協会では考えています。

また、来年度の介護保険法改正に向けての準備も進めています。前回の改定時の検証を行い、今回の改正のための意見を提出していく予定とのことです。さらに、三層構造の中で果たす役割について、国へ意見・要望書を提出することとしていきます。私達は、地域としての役割を果たすために、現場で起こっていること、現場からの要望をそれぞれの立場から上げて頂いたものをまとめ、山口県の意見として日本協会に挙げていく必要があります。自分達の仕事に関わる大切な部分であるとの意識を常に持ち、これからも積極的に意見提言していく必要があると考えています。

自分達の職の改善を行うにあたり、質の向上も必要不可欠です。国協会では全国の研修の内容や質の標準化を計るため、研修体系の調査を昨年度の事業で実施し

ました。今年度は、その調査に基づき、研修体制の見直しを行っていく予定です。以前から、国協会に訴えている介護支援専門員の国家資格化は今後も引き続き国への意見を挙げていく事項の一つです。国家資格化を実現するためにも、全国各地での研修体系を確立し、それと共に私達介護支援専門員各々が質の向上を目指して切磋琢磨する必要性を再度、確認していく事が必要だと考えています。

今回は、役員の改選もあり、常任及びブロック理事の選出、理事会による役員選挙が行われました。その結果、木村会長が再選されました。

日本協会は、今年度から選挙による代議員の選出等、新しい試みを始めています。会員の協力が必要な事が今まで以上に不可欠になっていきます。専門員として自分達の地位向上を行っていくために、より一層の連携を深めて行き、会員の皆様と共に今後の協会活動を盛り立てて行きたいと思えます。今後とも、御協力の程、よろしくお願いいたします。

